

平野厚子 議員

無所属

だれ一人取り残さない 市政実現のために…

問 18歳までの子ども医療費完全無料化については

答 完全無料化については財源の確保や実施時期を含めて検討を進めていきたい。

問 学校給食の負担軽減については

答 値上げにより保護者の負担をいただくことなく安全安心でおいしい給食を提供できるよう検討を進める。

問 市立病院の産科再開については

答 来年1月をめどに婦人科患者新規受け入れ再開の予定。産科再開につなげたい。

問 小・中学校の建て替えについては

答 私の5大戦略の中の1つとして小・中学校の改修・建て替えを掲げている。総合的に判断の上、取り組んでいく。



菊地慶太 議員

会派 立憲民主党

子どもの居場所への支援や連携の拡充を！

問 子ども食堂など子どもの居場所は、地域と子どもやその家庭がつながる地域コミュニティとなっている。運営団体を増やしていくためには、行政との連携や支援が必要である。

問 子どもの居場所に対する役割や政策の位置づけは？

答 子ども食堂などの市民活動は、市民同士の支援の輪が広がり、子ども

たちの孤食問題の緩和だけでなく、地域の方々とふれあいを通じた心の成長において、重要な役割を担っていると認識している。

子どもの居場所が少しでも増えるよう、地域の理解と意識の醸成を深めるとともに、団体が抱えている悩みなどに耳を傾けていきたい。



斉藤雄二 議員

会派 市民共同

安行街道、狭い歩道の改善を

問 県道吉場安行東京線の谷塚橋を越えて新しくできた配送センター横の歩道は1m弱の大変狭い歩道であり、真ん中あたりに道路を照らす照明が設置されている。歩道を通行することが大変困難な状況。ベビーカーや車椅子の方も一度車道に出なければ通行することができない。埼玉県が改善する考えはあるのか。

答 照明灯の電柱への共架など改善に向けて検討していきたいとの埼玉県から回答をいただいている。



広田丈夫 議員

会派 公明党

県道獨協大学前停車場線の歩道の再整備を

問 獨協大学前<草加松原>駅から県道足立越谷線にぶつかるまで、県道獨協大学前停車場線が東西に延びている。百代橋から東側については整備が進んでいるが、県道獨協大学前停車場線の両側の歩道は凸凹しており、転んでけがをされる方もいる。その都度、修繕し、対応いただいているが、再整備すべき。県にさらに強く要望すべき。

答 歩道部分は、整備後数十年が経過しており、平板ブロックの破損や沈下による凹凸の発生が見られる。市としても全面的な改修が必要であると認識し令和4年7月にも要望を行った。引き続き、県に要望していく。



平山杏香 議員

会派 SOKA新政

選挙を経て、今後の投票率UPのためには？

問 草加市が今まで投票率を上げるためにやってきたことは？近隣の他市は実際に実現しているが、期日前投票所を駅前の商業施設に設置すべきではないか。また、期日前投票所の受付時間を延長することや選挙キャンペーンに対して市の考えは？

答 市としても啓発や告知を行っており、今回は市内の高校3年生に啓発グッズを配布した。その他施策は現在の形が適当であり新規導入は慎重にならざるを得ない。



中島綾菜 議員

会派 立憲民主党

障がい者アートを広げる取組を！

問 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が施行され、障がい者アートは年々注目されている。障がい者の心の問題解決など、より心豊かに生きることにつながっている。また、創作活動を通して、少しでも経済的対価を得ることのできる仕組みが必要だと考えている。

例えば、障がい者アートのガチャガチャ、観光

案内所での販売、ふるさと納税の活用など障害者アートを広げる取組について、草加市の考えは？

答 作品の販売機会の創出などを含め先進事例も参考としながら、どのような取組が有効であるのか当事者関係団体や障害福祉サービス事業所の皆様と意見交換していきたい。

